

広告収入増へ 試行錯誤の県

財政難の県が電子看板や職員の業務用メールへのバナー広告添付で収入アップを図っている。新年度当初予算案は県債の大量発行で前年度を上回ったが、このままでは財源不足は解消されず、2013年度に赤字転落が予想される。財源確保へ試行錯誤が続く。

電子看板

バスポートセンターの電子看板への広告配信は1日に始めた。観光情報や渡航情報の合間に放映する。仙台市の情報関連企業に営業、広告制作などを委託し、2年間で最大1400万円の収入を見込む。

県の担当者は「今後は病院や免許センターなど県民が多く集まる場所にも設置できないかどうかを検討したい」と収入増

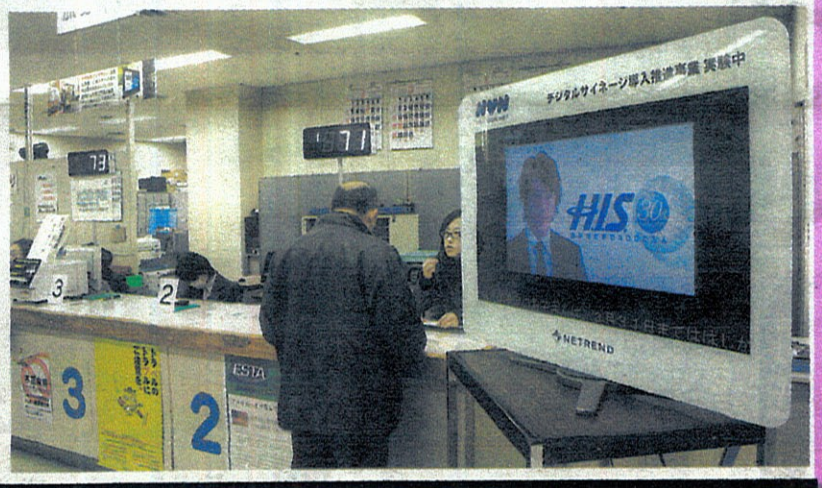
2年で最大1400万円も 4月の本格運用目指す

への道を探る。職員が使用するパソコンの業務用メールにはバナー広告を添付する。クリックすると、画面が広告主のインターネットサイトに誘導される。早ければ2月中旬に試行を始め、4月の本格運用を目指して広告料金設定やシステム運用上の課題を検討する。庁内で送受信される業務メールは1日約1万

業務メール

財源確保に躍起

民間企業の広告動画が放映される県庁1階バスポートセンターの電子看板。広告は業務開始前の午前8時半前、休憩時間の正午～午後12時45分、午後5時15分以降の時間帯に見ることができ。県情報システム課は「安全な広告かどうかチェックしてインストールする。各パソコンにはウイルス対策ソフトも入っているのが危険を排除できる」と話す。村井嘉浩知事は「歳入を増やす難しさを知って意識改革することが、歳出抑制にもつながる」と語っている。



女川原発 プルサーマル

石巻市議会、賛否二分

最大会派 慎重姿勢に

東北電力女川原発3号機(女川町、石巻市)のプルサーマル計画で、石巻市議会総合防災対策特別委員会は22日、計画を受け入れの可否について、6会派のうち賛否を表明したのは4会派で、賛否が微妙に分かれた。プルサーマルの必要性は、意見は①安全性②住民理解と安心③国の原子力政策と見通しの観点で

容認派は第2会派の二

ユー石巻(6人)、第3会派のみらい石巻(5人)、公明会(3人)。明確な反対は共産(3人)だけだった。グローバル石巻は賛否を明確にせず、「(プルサーマルを)先行実施した」九州電力女海原発の稼働実績が検証されるまで様子を見るべきだ」と

慎重姿勢を示した。新世紀クラブ(4人)は「安全性の特性も、実施を急ぐ理由も分からない」とした。グローバル石巻、新世紀クラブともプルサーマルの必要性は認められた。無会派の1人は容認、1人は意見を保留した。国や東北電力への要望

は「使用済みアルトニウム・ウラン混合酸化物(MOX)燃料の処分方法は早急に構築すべきだ」「ヒューマンエラーが心配」「技術者育成が重要」などと数多く出た。特別委は26日、次回委員会を開き、議長への報告案を作成する。

心臓病の沙也さん「生きる機会を」移植へ協力訴え 東京でも両親会見 拡張型心筋症で東北大病院 会費で募金の協力を呼ぶ 掛ける貴史さんと直美さん

大衛 仙台北部中核工業団地群

部は「第2工業団地」、大和流通は「流通工業団地」と略称を設けた。各市地内に設置した案

